

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向 関連 (四国)	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	衣料品専門店 (経営者)	お客様の様子	・12月も期待していたが、暖冬の影響を受け、アウターなどの高価な商品の売上が相当減少したように思う。しかし、その他の商品についてはそこそこで推移し、商品単価も多少上がり気味なので、全体としては横ばいのなかのやや良いところという感じを受ける。
		乗用車販売店 (役員)	販売量の動き	・12月に新型車を投入したことで販売量が増加し、売上を押し上げている。景気が良くなっているという実感と勢いを感じている。
		通信会社(企 画)	お客様の様子	・12月に入ってから、比較的高額の商品の引き合いが増加している。
		通信会社(営業 担当)	販売量の動き	・年末商戦期のため、来店増に伴い販売量が増加している。
		ゴルフ場(従業 員)	来客数の動き	・2～3か月前と比べて、来場者数が増加し、予約状況も良い。天候にも恵まれて順調に推移している。
		美容室(経営 者)	来客数の動き	・年末で来客数が多く、消費も増えている。
	変わらない	商店街(事務局 長)	来客数の動き	・暖かい日が続いたことで、季節ものの売れ行きが悪く、衣料品等は単価も低迷した。商店街には人通りも多く消費マインドが悪いわけではないが、実際の消費には停滞感が漂う。宝飾品などの資産価値の高い商品は好調であるが、飲食、日用品等の消費は鈍く、展望が開けない。
		商店街(代表 者)	来客数の動き	・夏にオープンした商業集積施設の好影響がまだ続いているように思う。特に、冬物商戦において、その商業集積施設に入る客がかなり増えており、その波及効果が商店街全体に流れている。
		商店街(代表 者)	それ以外	・石油価格の値下がりだが、この先の日本経済にとってプラスかマイナスか今の時点で判断できないが、これまで景気を引っ張ってきた諸外国に大きな変動があれば不確定要素が増す。ただ、地方経済は過敏に反応しない。
		一般小売店[文 具店](経営 者)	お客様の様子	・価格訴求が強く、購入数量も少ない傾向が続いている。
		一般小売店[生 花](経営者)	お客様の様子	・お歳暮、クリスマス、正月用商品の予算を決めて必要なものだけ購入する傾向にあり、余分なものを衝動買いする人は少なかった。繁華街の人出も年々減少している。
		一般小売店 [酒](販売担 当)	お客様の様子	・忘年会が年々減っているせいか、納品数が減少しているように感じ、客単価も下がっている。
		コンビニ(店 長)	単価の動き	・近隣に競合店が出店し、来店客数が減り、客単価も落ちている。
		コンビニ(商品 担当)	販売量の動き	・下向きで変わらない。12月に入っても例年程単価が上がっていない。
		家電量販店(店 員)	単価の動き	・ボーナスが出ても低単価商品ばかりが売れる。
		乗用車販売店 (従業員)	来客数の動き	・春以降、販売台数が伸びないまま推移している。整備や修理にくる来場者は例年より増加傾向にあるが、販売にはつなげない。
		乗用車販売店 (従業員)	販売量の動き	・12月上旬にメイン車種のモデルチェンジを発表したが、受注状況は予想以上には伸びなかった。
		乗用車販売店 (営業担当)	販売量の動き	・軽自動車税が増税されて以降、軽自動車の販売は厳しい状況が続いており、明るい兆しがみえてこない。
		その他小売 [ショッピング センター](副 支配人)	お客様の様子	・客数の減少を客単価の上昇で何とか補っている。寒い日が少なく、早くもセール待ちの状況になっている。
	一般レストラン (経営者)	お客様の様子	・単価の安い商品や割安感のある商品には興味を示すが、他の商品には反応しない。	
	観光型旅館(経 営者)	来客数の動き	・忘年会等の宴会が増加する時期であるが、やはり宿泊人員が伸びていない。北陸新幹線開通で関西の景気が上向いており、香川県は良い影響を受けているようだが、愛媛県までは波及していない。	
	都市型ホテル (経営者)	来客数の動き	・宴会場ならびにレストランの来店者数は若干増えているものの宿泊客が減っており、さほど良くない。	

		タクシー運転手	お客様の様子	・12月は一年のなかでも一番忙しい月で、例年とほとんど変わらない。
		通信会社（営業担当）	販売量の動き	・ボーナス商戦の動きが鈍い。
		通信会社（支店長）	来客数の動き	・年末商戦が今一つ盛り上がり欠ける。
		競艇場（職員）	販売量の動き	・12月の売上高は前月比4%増、3か月前比27%増、前年比4%増となった。一年で最大のレースであるグランプリ・クィーンズクライマックス（女子レース）が開催され、売上増加につながった。
		美容室（経営者）	お客様の様子	・年末といえども来客数、客単価共に普通の月とさほど変わりがなかった。
		設計事務所（所長）	単価の動き	・建築費が相変わらず高止まりで、先が読めない状況である。
やや悪くなっている		商店街（代表者）	お客様の様子	・年末にかけて同業他社の出店が続き、販売競争が激しさを増している。客の動きが少し鈍く感じられる上に顧客単価が低くなっており、利益確保が難しくなっている。
		一般小売店〔書籍〕（営業担当）	販売量の動き	・外商は前年比プラスだが、店頭が前年より大きく落ちている。
		百貨店（営業担当）	お客様の様子	・来客数は前年と同様に増加しているが、買上金額や買上点数が若干減っている。
		百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・8～10月までは食品や高額品を軸に店舗売上は前年実績を上回ったが、11月に再び悪化した。12月は暖冬の影響を受け、衣料品やシーズン雑貨が苦戦し、厳しい状況が続いている。
		スーパー（財務担当）	販売量の動き	・暖冬の影響で販売数量が減り、単価も下落した。
		コンビニ（総務）	来客数の動き	・気温や天候に大きく左右されるが、徐々に来店客数が減り、前年割れ幅が拡大している。
		衣料品専門店（総務担当）	販売量の動き	・暖冬の影響で冬物衣料の動きが非常に悪く、売上が落ち込んでいる。重衣料の目的買いが減少しているため、客足に影響が大きく出ている。
		旅行代理店（支店長）	お客様の様子	・ヨーロッパでのテロ事件以降、海外旅行者数が減少している。今年の年末年始は日並びが良くないため、単価の高い海外旅行より単価の低い国内旅行を選ぶ客が多い。
	悪くなっている		スーパー（店長）	販売量の動き
		コンビニ（店長）	単価の動き	・来店客数が減少し、客単価も著しく低下しており、売上、利益共に悪化が続いている。
		タクシー運転手	来客数の動き	・暖かい日が続いているため昼間の乗車率が悪く、遍路の仕事もほとんど無い。夜は、忘年会シーズンで期待していたが、街には思うほど人出がなく、タクシーに乗車しない。
企業動向関連 (四国)	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	繊維工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・相変わらず小売店の店頭での消費は活発である。特に首都圏、都市部が好調であるが、地方は元気がないことが気がかりである。
		パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・掃除用品がよく売れている。外国人観光客が増加し、特に中国人が日本製のフェイスマスクをよく買ってくれているので売上、利益共に過去最高となった。
		輸送業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・受注価格は高くなってきているほか、支払単価も高くなってきている。
		金融業（副支店長）	取引先の様子	・12月は、受注量増加に伴う短期の運転資金融資の需要が多かったように感じた。
	変わらない	農林水産業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	・暖冬によって、葉物等の入荷が多い一方、需要が低調である。品薄な野菜は価格が高めで推移している。
		食料品製造業（経営者）	取引先の様子	・スーパー・量販店等、取引先自体の売上が低調である。
		木材木製品製造業	受注量や販売量の動き	・持家着工が順調に推移している影響を受け、戸建て住宅への納材が多い当社もその恩恵を受けている。
		一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・足元は順調に推移している。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・現状では大きな変化はない。

	建設会社（経理担当）	受注量や販売量の動き	・受注量は増え、販売量は横ばい。景気は変わりなし。	
	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・相変わらず受注が伸びない。	
	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・12月は、新規発注業務が大幅に減少しているが、昨年度来からの物件も含めて、手持ち業務の出来高は例年通りで推移しており、数か月前と大きく変わらない金額を計上している。	
	通信業（部長）	受注量や販売量の動き	・例年であれば年末は他の月と比べて販売量が増加する傾向にあるが、今年度は比較的穏やかに推移している。	
	公認会計士	取引先の様子	・12月の取引先の決算、あるいは試算表等を見ると、前年比でほとんど変わらないところが大半で、景気に変動はないと判断する。	
やや悪くなっている	鉄鋼業（総務部長）	受注量や販売量の動き	・造船以外の産業用機械等の見積案件が激減し、受注量が減少傾向にある。	
	電気機械器具製造業（経理）	受注量や販売量の動き	・得意先への販売量が数パーセント程度微減しており、出荷製品の構成による収益の悪化傾向も認められる。ただし、この現象は一時的なものと考えている。	
	輸送業（支店長）	受注量や販売量の動き	・年末年始用の荷物の動きが活発であるが、活況時期は12月21～28日の間のみ。以前に比べて短期集中型となっている。	
	輸送業（営業）	受注量や販売量の動き	・年末繁忙期には取扱う物量が著しく増加して、発着貨物が滞留する事もあり、例年であれば定期便以外に臨時便を出して対応する必要があったが、今年はピーク時においてもその様な現象が起こらず、取扱物量の減少を強く感じた。また年末に先行して発着する年明け配達の初荷貨物も例年に比べて少ない。	
悪くなっている	-	-	-	
雇用関連	良く なっている	-	-	-
(四国)	やや良くなっている	人材派遣会社（営業担当）	周辺企業の様子	・人材の売手市場を反映してか、これまで紹介予定派遣や人材紹介について紹介料を支払うことをためらっていた企業からの求人が増加してきている。
		職業安定所	それ以外	・11月の月間有効求人倍率は1.35倍で、3か月前より0.18ポイント改善した。
		学校〔大学〕（就職担当）	求人数の動き	・例年12月は求人数が減少するが、今年は良好な状態が続いている。また、企業の雇用関係者も、業種による違いはあるものの、景気はわずかではあるが良くなっていると感じている人が多いようである。
変わらない	人材派遣会社（営業担当）	求職者数の動き	・職種によって求人数が増減しており、景気としては変化がない。	
	求人情報誌（営業）	求人数の動き	・求人数は引き続き高止まりしている。東予地方において、県外資本の大手流通業の求人数は、募集開始時と比較すると、多少の充足により減ってきた。ただ、大手に引き抜かれた地元資本の流通業者、飲食業者では人手不足が深刻化してきている。全体の求人数は大きくは変わらない。	
	新聞社〔求人広告〕（担当者）	周辺企業の様子	・求人の需要が堅調に増加を維持しているにもかかわらず、広告出稿に結びついていない。まだまだ企業は守りの姿勢を崩していないようだ。売出しのパロメーターとなる新聞折込チラシも消費税増税で落ち込んだ昨年を上回っていない状況が続いている。	
	職業安定所（職員）	雇用形態の様子	・採用者の約半数は非正規雇用で占められ、高い求人倍率も求職者の希望とは合致していない。	
やや悪くなっている				
悪くなっている	-	-	-	-